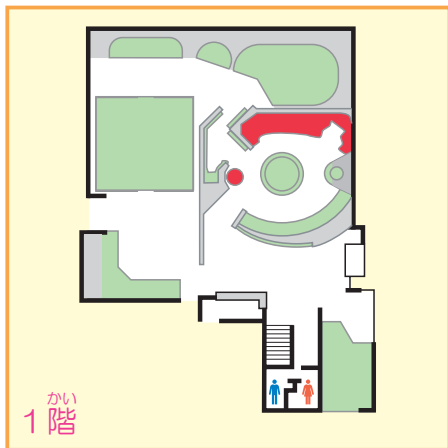


しぜん 自然はみんなつながっている

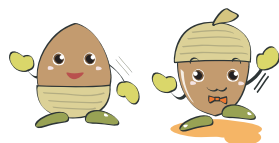
この場所で見られます



(コーナーの名まえ)

- 里山の四季
- 海と山を結ぶ鳥 アオバト

みなさんは雑木林に出かけたことがありますか？そこには、いろいろな草木がしげり、虫や鳥がくらしています。注意深く観察すると、いろいろな生きもの同士のつながりを見つけることができるでしょう。



地面にキジバトの羽が散らばっていた。オオタカが食事をしたあとなんだって。オオタカとキジバトにもつながりがあるんだね。





そうきばやし しぜん はやし
雑木林は、自然にできた林ではな
くて、農家の人たちが手入れをしなが
ら育ててきた林でもあります。薪を運
んだ「背負いばしご」、落ち葉をかいた
「背負いかご」などは、林と人のつなが
りをしめしています。

背負いかご (やまもとほるしきつせい 山本登氏撮影)

おおいそまち てる が さきかいがん しよ
大磯町の照ヶ崎海岸には、初
夏から秋までアオバトの群れ
が飛んできます。アオバトは丹
沢を飛び立ち、里山の雑木林で
も羽を休めながら、海岸まで海
水を飲みに飛んできます。アオ
バトの糞に入っていたミヤマ
ザクらのたねから、アオバトに
よる、海と山のつながりがわか
りました。



てるがさきかいがん にかいどうちかしきつせい
照ヶ崎海岸のアオバト (二階堂賢氏撮影)

ミッション4

そうきばやし だいす
雑木林にはみんなの大好きな カブトムシもすんでいます。カブトム
シは、どんな生きものの中なかでくらしているのでしょうか。何を食たべ、何
に食たべられているのか、展てんじ示みを見ながら四角の中なかをうめてください。

